



第51回 在宅チーム医療栄養管理研究会

■日時:平成21年7月26日(日)14時から17時15分

■会場:浴風会 第三南陽園認知症研究・研修センター3階

■参加者:30人(会員26人、非会員4人)

■内容:

1. 14:00～14:15

代表挨拶・事務連絡

2. 14:15～14:45

○輸液講座シリーズ②

大塚製薬 応用開発部・福永 善一先生

前回に引き続き輸液について、講演頂きました。

脱水について(水分欠乏性脱水とNa欠乏性脱水)分類があり、それぞれに対し補液の方法や種類に違いがある事をテキスト『輸液・栄養読本[水・電解質輸液編]』用いて読み解いていきました。次回も引き続き輸液講座シリーズ③経口摂取と輸液、高カロリー輸液、経腸栄養の相補的コラボレーションをご講演頂きます。

3. 14:45～16:00

○講演『糖尿病とメタボリックシンドローム』

講師:順天堂医院 糖尿病・内分泌内科・佐藤 文彦 先生

専門的な視野からの様々な研究データ、食事・運動療法の早期介入の重要性、効果的なアドバイス方法に至るまでわかりやすくご講演頂きました。

また、糖尿病患者が日本だけではなく世界的な規模で急増し、アジア諸外国でも今後より増加の一途を辿るお話は、大変驚愕いたしました。

そのような状況の中、糖尿病に関連した国内外の研究データをお示し頂きながら、三大合併症(神経障害、網膜症、腎症)や大血管障害(動脈硬化による心筋梗塞、脳梗塞、下肢大動脈梗塞)を予防するためには、早期介入による血糖コントロールが大変重要であることを教えて頂きました。

また、早期介入の観点から糖尿病に罹患する前からの予防を、メタボリックシンドロームについての代謝メカニズムからご説明いただき、生活習慣病予防と予備群の削減もこれからの私たちの大きな課題であること、予防啓蒙について運動療法と食事療法は必須であり、やる気を起こさせ、守ってもらえる具体的な指導方法の重要性・具体例をまじえお話し頂きました。

4. 16:00～17:00

○症例検討会『糖尿病患者2症例』

症例を中心にして講師の先生を囲んで参加者の皆様と
日頃の問題点なども含めて、検討していきたいと思います。

テーマ『退院後在宅での良好な血糖管理をするには』

- ① 介入して見逃してはならないと思ったこと
- ② 良かったこと(上手く行っている例)
- ③ 気になること(つまずき例)
- ④ コメディカルの介入で患者の心理・行動変容ができたこと
- ⑤ その他

○『糖尿病患者症例』

症例A～入院の糖尿病患者への取り組み～と症例B～在宅の糖尿病患者への取り組み～
各々2グループに分かれ、課題抽出、支援計画、他職種連携などについて検討しました。

5. 17:00～17:15

次回勉強会の確認・代表挨拶